
異世界からの勇者サマ？

nakumoto

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

JのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

異世界からの勇者サマ？

【Zコード】

Z8534Z

【作者名】

nakumoto

【あらすじ】

魔王を倒したはずなのに魔王の罠によつて幻想世界から現実世界に飛ばされてしまった主人公。魔王もなにもいない平和（？）なこの世界で主人公はどう活躍するのか！？

異世界召喚物の逆召喚系ストーリー

チートありの主人公最強系です。

プロローグ

ついに魔王ベルガロスを倒した！

長い死闘の末、沸きあがるのは疲労よりも勝利の喜びだらう。

後ろから仲間たちが歓声を上げながら二つに向かってくる。

先頭はナギ族のリングだ。その後ろにエルフ族のマルガース、人間族のカルス、獣人族のジンも続いてやってくる。

「やつたな！お前なら勝てると思つてた！」

リングが目に涙を浮かべ抱きついてきた。

「や、そうか？結構きつかったんだけどなあ」

リングの黒くて長い髪をなでながら自信なさそうに俺は答えた。

「お前がダメならこの世界はとうに滅んでいただろ？よ。。。。ジンがため息をつきながらつぶやく。

「でも、ほんとこすゞいよ！」

カルスが目をキラキラさせながら二つを見つめてくる。

「ふ、さすがは私の見込んだ男だ」

マルカースがさも当然のような感じでうなづく。

「みんな、今までありがとうございました。でも、これで終わってないんだよ」

「え？」

「ど、どうじつ」と・・・？

「さっき倒したアレは分身、つまり思念体みたいなもんなんだよ」

「なつ・・・！」

「なにを・・・いつて・・・」

みんながだいぶ戸惑っているようだ。それも当然だろう、膨大な魔力と戦闘力を秘めたあれが分身だと言い切ったからだ。

「本体は他にあるのさ、こっちだよ」

そう言つと俺は城の地下へと歩き出す。

みんなは慌てて付いて行く。

「・・・」
「」

祭壇のような物が地下にあつた。それは巨大で床には魔方陣のようないわがある。

祭壇の中央に心臓のようなものが脈打つて動いている。

「よく気づいたな・・・」

天井から響くよつ声が聞こえてくる

「分身を倒したとき魔力が逃げて行くのが見えたからな」

「ほつ、魔力を見るとはさすがは勇者様だ」

「そんな大したものじゃないさ、俺はな」

仲間たちは口を開けてぽかーんとしながら俺と魔王本体との話を聞

いている。

おいおい、お前ら大丈夫かよ。

俺は腰から剣を抜くと心臓に向けて振り下ろした。

「だが、これで終わりだ・・・！」

心臓に刃が届きそうになつたその瞬間、俺は光に包まれた。

な、なんだ・・・?

「はははは、罠にかかつたな！俺に害をなすものは消え去るのみ！
はーはははー！」

魔王の笑いが聞こえてくる

光で心臓の位置がわからないが元あつた位置をなんとなく推測でナイフを投げた

「ああああああああああああ」

魔王の悲鳴と共に俺の意識は消えていった・・・。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8534z/>

異世界からの勇者サマ？

2011年12月26日22時54分発行